



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル
 コード番号 9713 URL <http://www.rihga.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 亨
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 坊傳 康真

TEL 06-6448-1121

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,182	2.4	499	124.0	397	275.0	388	—
25年3月期第1四半期	10,919	2.0	222	—	106	—	34	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 390百万円 (907.4%) 25年3月期第1四半期 38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.80	2.67
25年3月期第1四半期	0.34	0.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	53,806	8,591	16.0
25年3月期	54,880	8,201	14.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,591百万円 25年3月期 8,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	1.1	△350	—	△600	—	△700	—	△6.83
通期	46,000	1.3	1,300	27.1	800	41.9	600	8.5	5.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	102,716,515 株	25年3月期	102,716,515 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	253,988 株	25年3月期	253,152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	102,463,020 株	25年3月期1Q	102,464,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期にわたる海外経済の減速や円高・デフレ等の影響から先行き不透明な状況が続きましたが、昨年末以降政府・日銀による金融緩和・景気対策の実行に加え、円安・株高の進行や企業業績の回復への期待もあって底入れしつつあります。

ホテル業界におきましては、企業活動や個人消費に回復の兆しが見え始め、円安の影響もあり訪日外国人が増加するなど客室の稼働は全体的に回復基調にあります。

このような中、当社グループは売上増強・サービス充実に全力で取り組むとともに、業務プロセスの見直しによる体質改善を進め、経営の一段の効率化に取り組んでまいりました。

売上に関しては、大阪での開催が期待される大型国際会議や展示会などMICE（マイス）需要を獲得すべくセールス&マーケティングのより一層の機能強化を図るとともに、受け入れ態勢のレベルアップを図りました。また「食のロイヤル」に一層磨きをかけ、幅広いお客様にご支持いただけるサービスを提供してまいりました。

人事面では当社グループ初となる女性総支配人、歴代最年少となる総料理長を起用するなど世代交代を進め、時代の変化に対応できる体制を整えました。

施設面では売上増強のためレストランや宴会場の改装を進めております。

このように様々な施策を進め、営業の強化に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,182百万円と前年同期比263百万円(2.4%)の増収となりました。

損益面では、営業利益499百万円(前年同期比276百万円の増)、経常利益397百万円(前年同期比291百万円の増)、四半期純利益388百万円(前年同期比353百万円の増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,074百万円減少し53,806百万円となりました。

内訳では流動資産が同404百万円減少し6,200百万円となりました。これは現金及び預金が233百万円減少したこと等によります。固定資産は同669百万円減少し47,605百万円となりました。これは有形固定資産が665百万円減少したこと等によります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1,464百万円減少し45,215百万円となりました。これは借入金が761百万円減少したこと等によります。

純資産は前連結会計年度末に比べ390百万円増加し8,591百万円となりました。これは四半期純利益の計上等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想に関しましては、平成25年5月15日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,051	2,818
売掛金	2,612	2,540
有価証券	70	10
原材料及び貯蔵品	370	397
その他	505	438
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	6,605	6,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,514	82,526
減価償却累計額	△58,780	△59,358
建物及び構築物(純額)	23,734	23,168
土地	5,214	5,214
リース資産	2,844	2,844
減価償却累計額	△589	△658
リース資産(純額)	2,254	2,186
その他	6,839	6,825
減価償却累計額	△5,635	△5,652
その他(純額)	1,204	1,172
有形固定資産合計	32,407	31,742
無形固定資産	80	75
投資その他の資産		
差入保証金	15,168	15,167
その他	674	677
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	15,786	15,788
固定資産合計	48,275	47,605
資産合計	54,880	53,806

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,487	1,283
短期借入金	4,281	4,158
賞与引当金	287	49
その他	3,831	3,623
流動負債合計	9,887	9,114
固定負債		
長期借入金	20,218	19,580
退職給付引当金	5,725	5,761
商品券回収損引当金	153	153
資産除去債務	2,323	2,329
その他	8,371	8,275
固定負債合計	36,791	36,100
負債合計	46,679	45,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,102	18,102
資本剰余金	14,980	14,980
利益剰余金	△27,411	△27,022
自己株式	△52	△53
株主資本合計	5,617	6,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	11
土地再評価差額金	2,573	2,573
その他の包括利益累計額合計	2,583	2,584
純資産合計	8,201	8,591
負債純資産合計	54,880	53,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,919	11,182
売上原価	2,900	2,933
売上総利益	8,019	8,249
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	611	615
人件費	3,504	3,540
諸経費	3,680	3,594
販売費及び一般管理費合計	7,796	7,750
営業利益	222	499
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	1
受取保険金	1	5
債務勘定整理益	3	4
その他	8	8
営業外収益合計	17	22
営業外費用		
支払利息	126	114
その他	7	8
営業外費用合計	134	123
経常利益	106	397
特別損失		
固定資産除却損	31	2
事業撤退損	41	—
投資有価証券評価損	13	—
特別損失合計	85	2
税金等調整前四半期純利益	20	395
法人税、住民税及び事業税	5	26
法人税等調整額	△20	△20
法人税等合計	△14	6
少数株主損益調整前四半期純利益	34	388
四半期純利益	34	388

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	34	388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	1
その他の包括利益合計	3	1
四半期包括利益	38	390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38	390
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

部門別売上実績

部門	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
客室	2,249	9.4
宴会	4,557	2.9
食堂	2,476	0.3
その他	1,899	△3.4
合計	11,182	2.4

(注) 受注生産は行っておりません。